

【会議録】

会 議 名	第2回港区版ふるさと納税返礼品事業業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和7年3月19日（水）午前10時から12時まで
開 催 場 所	札の辻スクエア8階 活動室
委 員	出席者 5名 朝倉委員長、上村副委員長、藤咲委員 オンライン参加：岡野委員、保田委員
事 務 局	産業振興課 観光政策担当課長 産業振興課 シティプロモーション担当
会 議 次 第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配 付 資 料	(配布資料) 資料1 港区版ふるさと納税返礼品事業業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 港区版ふるさと納税返礼品事業業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 参考資料1 港区版ふるさと納税返礼品事業業務委託事業候補者募集要項 参考資料2 港区版ふるさと納税返礼品事業業務委託事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書
会議の結果及び主要な発言	

<p>委員長 事務局 委員長</p>	<p>【1 開会】 （開会の挨拶） （事務局より配布資料の確認） それでは、議題2、「第一次選考結果について」、3者から応募があり、本日はこの3者のうち二次審査に進む事業者を決定します。集計結果など議題に関わる資料について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【2 第一次選考結果について】 （事務局より資料1、A事業者について説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。事業者の説明が終わりました。事務局の説明について質問や確認をお願いします。 （一同、異議なし）</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、審査にあたりA事業者を評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いします。まず、A委員からお願いします。</p>
<p>A委員</p>	<p>A事業者の評価は3者の事業者の中で比較すると一番低い点数になっています。人員体制とかスケジュールなど分かりやすく示されていたり、プロモーションについての画像作成や、現地決済スマイル商品券なども意識しているのかなと思いました。内容的にはこれまで前例もあり実績もあるのですが、具体的に港区で何をやるかという点については弱いかなというところを反映した採点としています。</p>
<p>B委員</p>	<p>A事業者については、広報PRにおいて強みがあるのでしょうか「宅配事業者メンバーズメルマガ会員などに対する」というような記載があり、また返礼品開発においてもどれだけ実施の効果があるかなんですが、宅配ドライバーがチラシを配布する等、今もっている提案事業者の強みを生かして行くと。あと連携に関しましても、発注発送管理はシステム構築によるスマート化、内製化によって一貫した支援を行っていくというご提案であったと理解しています。その点を他の項目と相対して比較的優れていると評価しました。ただ、他の2者はこれから説明が皆さんからあると思うのですが、比べると特に返礼品開発等において少し実行性があるというか、港区の観光資源を活用し魅力あるものが提供できるのではないかという点において少し低いという風に判断いたしました。</p>
<p>C委員</p>	<p>私も印象としてはB委員とほぼ同じような印象を持ちました。コメント欄にも書かせてもらいましたが、今までの実績があるから選んでほしいというメッセージ性が強く出ているのですが、港区という特性や港区に寄り添った提案という風にはなっていないなと思いましたのでこのような点数にさせていただきました。</p>
<p>D委員</p>	<p>私は3者の中では一番点数が低くなっています。まず、業務従事者は多分この会</p>

	<p>社は体制としては大きく人員も多いとは思いますが、営業担当、立ち上げ担当と業務ごとにその他のところですが、それが一貫性のなさに繋がらないか懸念が残るかなと思いました。様式9だと自治体の毎月の定例会に参加するということは営業担当のみと見て取れたので、事業担当する商品担当が実際に直接確認しないのかということにちょっと不安を感じたところがあります。</p> <p>返礼品の開発については、委員からご指摘があったように、返礼品の提案については開発ではなく、既存の有名施設・ものの羅列に過ぎないかと感じましたので、下調べした上での新たな創造提案に至ってないという気がしましたので、点数の方で加味した部分があります。ただ、既存スキル、システムについては十分な体制を組まれているので、調整機能は有していると思います。</p>
E委員	<p>A事業者についてはふるさと納税事業の実績が非常に豊富で、特に23区の実績が豊富だという点、こういった事業の経験、ベストな担当者がいるし実施体制の人数も多いという点はしっかりとシミュレーションしてもらえるとこの風に思いました。あと一番大切な返礼品について、委員の皆さんがおっしゃったように、他の自治体の返礼品の改革事例をたくさん載せていますが、港区ではこういう返礼品をやりますという提案が具体的にない点が少し不安だなと思います。あともう一点評価できると思うのは、今回は港区に来てもらうような返礼品をというリクエストがあったかと思いますが、事前に返礼品を買ってもらうだけでなく、現地決済型の取り組みがありますよという提案がありましたので、来訪してから追加の商品も流せるといったような仕組みを組んでいただけたのはよかったかなという風に考えています。</p>
委員長	<p>各委員からの講評を踏まえA事業者の意見交換をしていただきたいと思います。特に資料1で黄色くマークされているところですね、各委員の評価に2段階以上の差がある項目については、他の委員の講評を踏まえた上で再修正含め、今一度ご確認をお願いします。A事業者は4つの項目で2段階以上の差があります。もし評価に修正のある委員の方がいましたら挙手をお願いします。</p>
B委員	<p>全体的に修正が必要であれば修正させていただくことは当然あるのですが、最初の選択をする際の基準が相対的に全て基準点以上だという評価であるとする、ここでの1点2点の調整をどの程度必要があるのか少し分からない点があったのですが、最終的に決定する際に評価に偏りがある部分の調整はあるかもしれないのですが、この一次審査の段階でも今おっしゃったようなことを踏まえて点数を調整した方がいいということですか、その点がわからなかったのですが。</p>
事務局	<p>わかりにくい説明で大変恐縮なのですが、例えば3点と5点と差があった場合は、記録に何かポイントみたいな事があれば議事録に掲載させていただきたいのですが、点数を修正してもらう事が必須ではないので、何か修正があったり特に講評のところ以外でおっしゃっていただきたい事がありましたらここでご発言いただ</p>

B委員	<p>けると有難いです。</p> <p>体制として十分なレベルにはあるけれどという理解をしてこのような点数をつけさせてもらいましたので、特にこの点においては現時点で修正は考えてないです。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは先ほど色々なご意見をいただきましたので、今の意見交換を踏まえて事業者の点数をこの資料1のもので決定いたします。ありがとうございました。</p> <p>では次に、B事業者の説明を事務局からお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(事務局より資料1、B事業者について説明)</p>
委員長	<p>B事業者の説明が終わりましたので、B事業者の評価したポイントなど各委員から順番に講評をお願いします。A委員からお願いします。</p>
A委員	<p>B事業者ですが、点数的に3者の中では私の中では一番高い点数になっています。封筒のデザインとかもサンクスレターとか、そういったものが良かったという風に思います。また体験型というニーズに応じたチケットの提案とか、外国人向けふるさと納税など、他の自治体があまり取り組んでないようなことが取り組まれているところ。また、社内完結していて、再委託が少ない可能性もあって、そういう意味では色々話しも通りやすいような、反応も早いのかなというイメージを持っています。スケジュールが少し幅があったことが気になりますが、高い点数になっています。</p>
B委員	<p>B事業者の提案について全体として他の2者より評価しています。評価した点は、まず事業者向けの個別説明会を予定されているという点と、システムベンダーということで行政の寄付管理システムなどを開発している点でいろいろ安定稼働している自社開発のシステムなどを活用しているという点においては安心して任せることができるかなという点を評価しました。あと、返礼品開発で、こちらは実際にプレゼンの時に確認したいのですが、著名人を起用しますというような提案がされていました。実際にアポイントは難しいのかもしれないし、やる際もいろいろな変更は予定されていますが、どういう形でうまくPRしていくか、その仕方によってはかなりインパクトが出るかなというところがありました。あと、返礼品の開発においては当然港区のいろんな施設とうまく連携しながらいくつか具体的な提案をいただいている、それも含めてご覧のような評価をさせていただきました。</p>
C委員	<p>私も他の委員と同じような意見です。一番、港区に寄り添った提案をしていただいているなという印象を受けています。一方でB委員がおっしゃっていたように、例示されている著名人は無理でしょうということもあるのですが、それ以外のところ</p>

は非常に良いと思いました。一方で推進体制という意味においては、事業者AとCに比べると若干劣る面はあるかなと思いました。ただ、それはあくまでも相対比較の話であって十分実施体制は兼ね備えていると、単純に規模的に例えばC事業者と比べると圧倒的に違うわけですので。ただ事業の規模、事業体の規模で仕事するわけではなく、最終的には担当チームできちんと遂行していただくという事になるので、その観点でみると十分素質等はあるかと思いました。

D委員

3者の中で一番高く評価しております。まず業務体制についてはメイン担当、サブ担当と役割が明瞭に示されていますので、体制面では信頼性が高いという判断をしました。封筒のデザインなども、港区オリジナルのパンフレットも既にこのデザイン案っていうのを入れているあたりに意気込みを感じられたというところです。寄付者の満足度や、リピーターの獲得というところを狙った取り組みを示されているという認識です。また、他の委員からもご指摘があったように、著名人を起用したのは、実現性はどうかと思いました。事務所等の改革とか微調整がない中で提案すると、それ以外の資料そのものの実現性、信憑性を全体的に下げってしまう事になると思うので、ここはヒアリングの中で聞きたいという視点です。外国人向けですが、面白いかなと思いました。この取り組み自体が国際色豊かな港区のイメージにも繋がるかなという認識です。

港区のシティプロモーション戦略策定時の基礎資料から分析されていると思うのですが、港区の強みを踏まえた提案がされている点もしっかり勉強してきているなという認識です。

返礼品も利用者の家族構成等を踏まえて細部への配慮も見られるので、きめ細やかさでも魅力があるかなという風に思っています。ふるさとチケットというのは示されているのですが、このふるさとチケットというのが国内の観光施設でどこまで対応可能なのかというのが気になります。あと、地域通貨も少し知見のある業者さんだと見てとれましたので、そういったところの連携に関する実績がある点は今後の展開としては強みになるという認識です。

E委員

このB事業者につきましては23区のふるさと納税事業の実績があるという点は評価できると思います。A事業者でも言いましたが、やはりその地域で例えば農産物があるとか、地方と23区は立地が全然違うので、23区という都会の事業の実績があるということはいいかなと。それからBCPの対策ですね、コールセンターの事を書いていました。やはり、いろいろな問合せがあろうかと思しますので、この点が他の2者に比べて非常にしっかりしているという印象があります。それから他の委員からも発言がございましたが、著名人を使うのはPRに効果があるかどうかは私も疑問なので、実効性についてはどうかと意見がありましたので、この点については是非プレゼンのときに聞いてみたいと思います。それから返礼品ですね、やはり納税事業についてはどんな返礼品を用意するかは非常に大切だと思いますので、このB事業者は港区の特性を生かした非常に具体的な返礼品を提案しているので、この点は他の2者に比べ非常に優れていると評価しました。それから人数別の

	<p>チケットですね。利用者のことを非常によく理解した提案をしてくれているので、納税者というか、使い勝手のよい返礼品をこの会社であれば作ってもらえるのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>B事業者について、意見交換をしていただければと思います。B事業者も4つの項目で2段階以上の差があります。特に修正を強く求めるものではないですが、もし評価を変えたいというような希望ですとか、講評を加えたいことがありましたら皆様からのご意見を伺けたらと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>採点に反映する話ではないのですが、先生方のご知見を少し賜りたいと思うのですが、今、著名人の起用というところを皆さんから意見があったと思うのですが、この著名人の起用というところに事務経費にも当然かなり影響がでるかなと思って、区民の皆さんも本当に著名人に、このキャスティングに自分たちの税金が投下されているというのが割とストレートに受け止められてしまう部分かなと思います。昨今の各自治体がふるさと納税における著名人起用が主流なのか否か、あと著名人起用について分かる範囲でご意見があればお伺いしたいと思うのですが。</p>
<p>委員長</p>	<p>おっしゃる通り、著名人に多大な謝礼を払うというような使い方をされてしまうと本末転倒になってしまう可能性はあると思います。私もこの分野は不勉強なのでわからないのですが、例えば、自治体でふるさと大使や観光大使のような形で依頼している場合は、その方もボランティアで協力してくれる可能性はゼロではないと思います。でも今回のご提案の方はあまりにビッグで、予算も含めてそれこそ内諾が取れているのか含めて今回の資料ではわかりませんでしたので、是非次回のプレゼンの時に事業者にご質問いただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは皆様からの講評とご意見を踏まえましてB事業者の点数を資料1にある点数で決定したいと思います。</p> <p>続きまして最後のC事業者の説明を事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局より資料1、C事業者について説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ではC事業者の評価ポイント等また各委員から順番に講評をお願いします。</p>
<p>A委員</p>	<p>3者の中では2番目になっております。人気の高い旅行業者でやるのかなと思ひまして、いろんな新しいコンテンツ管理とか、上手くできるのではないかなという感じはしました。具体的な返礼品の事業者同士のコラボレーションなんかも返礼品としては魅力的に感じました。また、トラブルシューティングも具体的な対応もあって、そこらへんも心強いかなと。説明会の開始は遅かったり、少しスケジュール的に懸念がありました。</p>

B委員	<p>全体として実際の実績が187ぐらいありますよというような説明だったと思います。また、専門性、組織力を生かして対応するという点。その後、返礼品の事業者向け勉強会などサポートしていきます的な提案を相対的に評価しました。特に返礼品開発においてですけど、基本考えられるようなところを、新たな切り口による提案ということで、こういった商品の返礼品化っていうのがどれだけインパクトが与えられるのかは私も詳細には正しく理解していないのかもしれませんが、港区ならではの新たな切り口としてのご提案も期待できるという点を評価しまして、ご覧のような点数とさせていただきます。</p> <p>ただ、相対的にいうとやはり真ん中の2番目の事業者の方が充実していると思います。ただ、その差自体が私自身にとってはそれほど大きく感じられなかったので、当日のプレゼンの中で具体的にもう少し詰めていけたらと考えております。</p>
C委員	<p>お二人と同じような感じですが、おそらく旅行代理店だろうと思う提案書です。港区の場合は旅行に関するコンテンツが豊富ですので、そこを捉えたい提案になっているように見受けられますが、一方、自分たちの得意分野で提案してきており、それ以外の提案、返礼品を作っていくところでは満足できるのだろうかという点はちょっと疑問視するところがあると考えました。</p> <p>大企業関連の話ですが、港区にはいろいろな大企業があるわけですが、港区民にとって大企業とのタイアップというのが今回の趣旨に沿うのかどうか、安直な提案に走っているのでしょうか。私も先ほどのお二人と同様でB事業者には劣る評価をつけさせていただきました。</p>
D委員	<p>私は3者の中では2位ということで点数をつけています。体制としては各スタッフが経験豊富であるということ。港区在勤の、港区をよく知るスタッフが従事するというのは強みかなと捉えています。ただ、特設サイトの開設とか寄付金受領証明書に関する業務などが再委託であるということも含め、他社と比べると再委託が多い点が目立つかなと。1者で一貫したサービス提供できない点はどうしても減点要素となりかねないのとらえています。多彩な発信媒体とか発信手法を取り入れることを色々ご提案いただいておりますが、其々の媒体が港区にどのような魅力があってどのようなターゲットに届けたいからこの媒体を選択するというような戦略性が見えてこないのはちょっと勿体ないなと思いました。あと他の委員と同様ですけども、港区ならではの体験コンテンツを提案いただきたいと思います。補足資料が大企業とのコラボした物の返礼品と提案されているので、趣旨の理解というのが今一つかなという風に捉えています。</p>
E委員	<p>C事業者ですが、同様の事業の実績はかなりたくさんあると考えます。政令指定都市のように、割と大きな都市のふるさと納税事業の実績が多いのですが、23区の実績が少ない点がA事業者やB事業者に比べると弱いのかなという感じがしました。それからここは明らかに旅行会社だと資料を読んでわかりましたので、やはり返礼品の内容がちょっと旅行に傾きすぎている感じがしました。それから企業との</p>

連携による返礼品です。これは物の返礼品なのですが、これもC委員がおっしゃったように、目新しさに欠けるかなという感じがしています。港区にこの企業があるからこの企業の商品をあげますというのではあまりに芸がないというのが正直なところではあります。旅行会社であるという強みを生かして店舗でもPRしましょう、あるいはパンフレットに載せましょうのようなご提案をいただいているのですが、昨今、旅行会社としても店舗の数を減らし、オンラインで旅行者の方と旅行相談しますよという流れになっていますので、旅行会社の店舗でのPRが今回の港区ふるさと納税のPRの場としてあまり適切とは思えないというのが私の感想です。PRの事業で他の2者と比べると少し劣っているかなというのが正直なところではあります。

委員長

では、先ほどのように各委員の講評も踏まえ、C事業者の支援に当たっての意見交換をしていただければと思います。C事業者も4つの項目で2段階以上の差があります。他の委員の方の講評も踏まえた上で修正があればお申し出いただければと思います。また先ほどの講評に加えてこの点も言っておきたいということがあれば伺いますので、挙手の上ご発言いただければと思います。

(一同、異議なし)

委員長

特にご意見等もないということですので、資料1に載っているC事業者の点数で決定とします。C事業者は加点がありますので、資料の一番下に書いてあります加点も含めたもので決定とします。

A事業者766点、B事業者859点、C事業者783点という結果になっていますので、集計結果一次審査の順位は1位がB事業者、2位がC事業者、3位がA事業者となりました。一次審査の結果を踏まえ、3者ともに選考基準として定めた最低ラインの目安が6割を超えている為、3者とも一次選考通過とすることについてご意見ありますでしょうか。

(一同、異議なし)

では、3者とも二次選考に進みます。次の議題について事務局から説明をお願いします。

【3 第二次選考について】

(事務局より資料2について説明)

ありがとうございました。

事前に想定質問を設定しておくかどうかはどうでしょうか。あるいは、そういうことはなしに自由に質問する形でもよろしいでしょうか。

(一同、異議なし)

委員長

私も事前の想定質問を設定しておくことはこういう仕事でやったことがないので、なしでよろしいかと思います。質問者の順番については本日同様、委員名簿順

	<p>でよろしいでしょうか。</p>
C委員	<p>これも全員に質問していると時間切れになってしまうので、別に全員が質問しなくてもよいと思うのですが。</p>
委員長	<p>そうしましたらご質問ある方ということで話をさせていただくという事でよろしいでしょうか。</p> <p>第二次審査のプレゼンテーションの時間は15分、質疑応答の時間は15分という事になります。事前の質問はなし。ご質問のある方は挙手をしていただいて、特になければ必ず質問してくださいという訳ではありませんのでご協力のほど宜しくお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局より資料3.4について説明)</p>
委員長	<p>まず、資料4の第二審査採点基準表(案)について第1回の選考委員会でも協議をしましたが、ご意見ありますでしょうか。こちらでよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
委員長	<p>資料4の第二次審査採点基準表(案)についてはこの通りとします。</p> <p>資料3の第二次審査の実施に関する留意事項(案)についてご意見、ご質問はございますか。プレゼンテーションと質疑応答の時間、それからプレゼンに関わる事業者の人数、資料の映写について確認をお願いします。まず、事業者の入場人数ですね。資料3では人数制限は設けませんという風に書いてありますが、これではよろしいでしょうか。あるいは、何人以内とか。</p> <p>特に人数制限は明記しなくてもよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p> <p>ありがとうございます。追加資料の提出は認めないけれども、事前に提出した資料や付属資料を含むのですが、映写は可としてよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
委員長	<p>では、本日予定されていた議題は終了しました。最後に事務局から連絡事項をお願いします。</p> <p>【閉会】</p> <p>(事務局より事務連絡事項)</p> <p>(委員会より閉会の挨拶)</p>